

## 予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

### 事 業 名 【新】きのこの生産資材導入支援事業費（R7国補正分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 資源活用係 電話番号：058-272-1111(内4363)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 補正後予算額                      12,122 千円    (現計予算額：                      0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	12,122	12,122	0	0	0	0	0	0	0
決定額	12,122	12,122	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

燃油・電気代が高騰する中、小麦ふすま、おが粉等の生産資材価格が上昇し、きのこ生産者の経営が圧迫されている。  
きのこ生産が継続できるよう、生産資材の上昇価格に対し、一部を支援することにより、経営体質の強化を行うことが必要である。  
そのため、国の「燃油・資材の森林由来資源への転換等対策」を活用し、特用林産生産資材高騰対策に対して助成する。

### (2) 事業内容

#### ・生産資材導入支援

高騰する小麦ふすま、おが粉など次期生産に必要な生産資材の導入費の一部を支援する。

補助対象者：市町村、森林組合、森林組合連合会、生産森林組合、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、民間事業者（大企業除く）

補 助 率：定額の支援単価×次期生産量

※支援単価：県が生産資材の単価上昇を踏まえた単価に国補助率を乗じたもの（調査中）

※次期生産量：令和 7 年（年度）の生産量

### （３）県負担・補助率の考え方

- ・補助金の財源は国庫支出金のため県負担なし
- ・補助率は、国が設定（1/2、電気代が経営費の15%以上占める場合7/10）

### （４）類似事業の有無

なし

## ３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	12,122	
合計	12,122	

### 決定額の考え方

## ４ 参 考 事 項

### （１）各種計画での位置づけ

岐阜県特用林産の振興方針（第２期２次改訂）；R6～R8年度

#### ４．各分野における基本戦略

##### （１）生産資材対策

県内の森林資源を最大限活用するため、県産原木等の利用促進、（中略）を強化していく。

目標：令和8年度まで4,500 t のキノコ生産量を維持することを目指す。

令和6年度に岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）を改正

- ・期間 R6～R8
- ・キノコ類のみでなくキノコ以外の特用林産物を追加

### （２）国・他県の状況

燃油・資材の森林由来資源への転換等対策は、国の補助事業であり、全国的に実施されている。

### （３）後年度の財政負担

岐阜県特用林産の振興方針（第2期2次改訂）の計画期間である令和8年度まで実施し、終年度中に必要な検討を行う。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

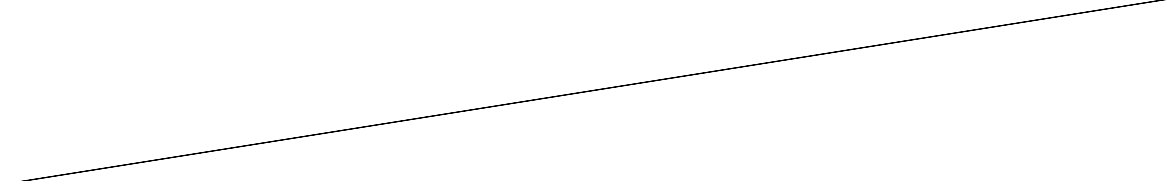
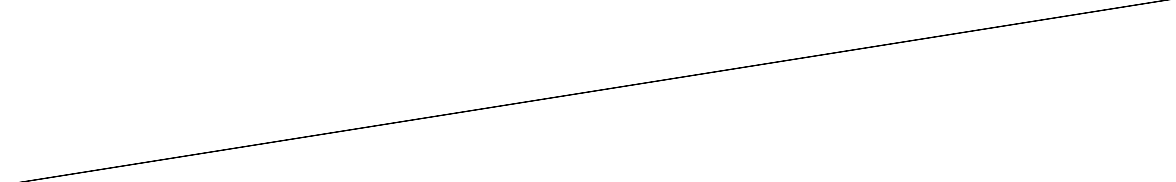
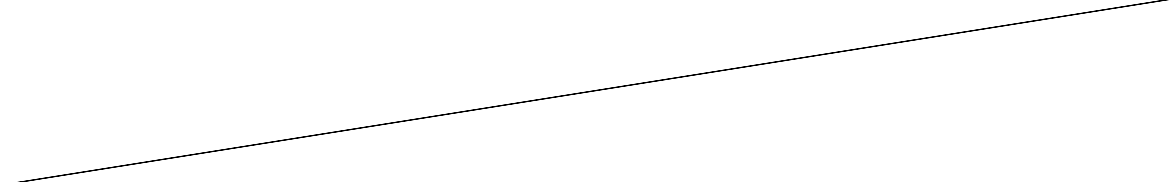
岐阜県特用林産の振興方針に基づき、岐阜県内のキノコ生産量について、令和8年度までに4,500tへ増加するようにする。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2～4)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①キノコ生産量 (t)	4,100	3,703	3,660	4,400	4,500	81%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)  
3

目標値を達成するためには、キノコ生産者が継続して生産することが不可欠であることから、生産資材の高騰に対する支援への取組の必要性は高い。

#### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

キノコ生産者の高齢化に伴う減少や、キノコの販売価格の上昇が見られない中、生産資材の高騰により、経営環境の悪化が見られる。  
経営環境改善のためには、生産資材等の価格低下や効率的な使用が必要である。

### (次年度の方角性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

キノコ生産量を増加させるためには、生産者の減少の歯止め、キノコ生産に対する負担軽減を図るため、今後も支援は必要である。